

会報

ゆかり

第28号

発行日:2015年6月10日
 発行:鹿児島純心女子短期大学
 同窓会ゆかり会
 〒890-8525 鹿児島市唐湊4-22-1
 TEL・FAX (099)255-7655
 E-mail jyukarikai@ybb.ne.jp
 U R L http://www.geocities.jp/jyukarikai
 編集:ゆかり会事務局



名誉会長
 平山 久美子 (学長)



純心ファミリーの広がり

気持ちを何らかの形でお伝えくださいますように、お願いいたします。

(2)いつまでも母校

そして本学は、やはり皆さんにとっていつまでも母校であり続けます。私も教職員は、今後も卒業なさる皆さんを支援し続けたいと思っています。皆さんはこれから場所的には鹿児島県内外に離れ、働く職種や職場も違い、身分的にも職業人や学生などと違ってくるとは思いますが、鹿児島純心女子短期大学の卒業生として、これからも繋がっていくことと思えます。

学校としては、卒業生の力になるために年に1度の割合でホームカミングデイを開催いたしております。(生活学科の場合、専攻・コースの種類が多いので、ホームカミングデイの形態や回数には多少変更があると思えますが。)その時には、どうぞふるって学校の方に足をお運びください。

(3)ある卒業生からのお便り

ところで、本学では、卒業して25年あるいは50年の卒業生の方々に、銀祝・金祝のお祝状を毎年お送りしております。昨年7月に、「金祝のお祝状」を頂かれた第2回生のT様より心温まるお礼状をいただきました。心に残る内容でございましたので、ここに抜粋して紹介させていただきたいと思えます。

「先日は『卒業50年を称えて』のお祝状をありがとうございました。拝見しながらなぜか涙が滲んでまいりました。当時貧しい中、入学を許してくれました両親に感謝いたしました。…純心短大を卒業できましたお蔭様で充実した青春時代を過ごすことが出来ました。子育てに悩みました折は、聖書の言葉に励まされて、何とか乗り切る事が出来ました。純心短大に在学・卒業できました事は、私の人生の中の光りのように思われます。これからもお祝状の中のお言葉に添えますよう努力しながら残りの日々を過ごしたいと思います。ありがとうございました。・・在学中、私も奨学金を貸与して頂き大変助かりました。微々たる額でございますが振り込みさせていただきます。」

私はこの書面を拝読し、目頭が熱くなりました。なんと心の清い、謙遜で、他者に開かれた温かい心の持ち主だろうと思いました。このような素晴らしい先輩方に共に、これからも純心ファミリーの輪が社会に広がり、この地上の生活を良いもの、味わい深いものにする「地の塩」、また暗い世界を照らす「世の光」となっていけたら幸いだと思えます。

(平成26年度 ゆかり会入会式あいさつより)

今年はずっと冬よりも冬の寒さが長く続き、春の訪れが待ち遠しく感じられましたが、ようやく山桜も山肌を飾るころとなりました。いよいよ卒業週間となり、昨日は卒業研究発表会があり7本の素晴らしい研究成果を傾聴することができました。そして早いもので、皆さんは明日、卒業式を迎えようとしております。そして本日は、卒業式に先立って、本学の同窓会である「ゆかり会」への入会式を皆さんの先輩方が準備してくださいました。

毎年、このように「ゆかり会」の役員の方々が、卒業なさる皆さんのために立派な同窓会入会式を開催して下さることを、私も大変ありがたく感謝しております。

(1)感謝の心を

さて、皆さんは明日の卒業式の後、いよいよ社会に巣立って行かれますが、この2年間、皆さんを本学に在学させてくださり、いろんな面で支援して下さったご両親、家族の皆様、恩人の方々に対して、どうぞ感謝の